

昭和五十四年度  
帯広市文化賞  
帯広市文化奨励賞

受賞者紹介

帯広市教育委員会

# 帯 広 市 文 化 賞



小 野 寺 俊 一

荒廃した終戦直後にあって、帯広演劇研究会を創立し、同人雑誌「凍原」の創刊メンバーとして、演劇・文芸を中心にその大衆化・人材育成・質的向上をめざして、帯広の芸術文化活動の中心的指導者として今日まで活躍してきた。

この間、帯広演劇研究会「新人座」を創立し、「市民文芸」「市民劇場」創立の中心メンバーとなり、地域文化の確立を志向し、実践し、今日の帯広の芸術文化の水準を押し上げてきた功績は多大である。

## 〈参考〉

- 1、同人雑誌「凍原」創刊メンバー（昭和20年）
- 2、帯広演劇研究会創立（昭和21年）
- 3、帯広演劇研究会「新人座」創立（昭和26年）
- 4、「市民文芸」創刊メンバー（昭和36年）
- 5、「市民劇場」創立メンバー（昭和38年）

# 帯 広 市 文 化 賞



長 沼 輝 夫  
(長 沼 透 石)

国内有数の奎星展の新人賞を受賞したほか、各種中央展、地方展において数多く受賞し、書家としてのめざましい活躍がみられる。

また、後世に伝承される美術品として歴史的意義を持つ奈良東大寺の昭和大納経の作家として選ばれており、当代第一級の作家としてその技能は高く評価されている

## 〈参考〉

- 1、北海道書道展奨励賞受賞（昭和35.36.37年）
- 2、書道芸術院展特選受賞（昭和37年）
- 3、北海道書道展特選受賞（昭和39.40年）
- 4、奎星展特選受賞（昭和41.42年）
- 5、奎星展新人賞受賞（昭和49年）
- 6、スペイン現代書展委嘱作家（昭和52年）
- 7、東大寺昭和大納経写経推薦作家（昭和54年）

# 帯広市文化奨励賞



岩 井 照 清

多年にわたり、少年少女合唱団を指導して、きわめて高い音楽的水準を確立し、国内はもとより、世界の一流少年少女合唱団とも共演できるほどに指導した力量は高く評価されている。

また、ブルガリアの少年少女合唱曲を数多く訳詩して国内に紹介し、少年少女合唱曲としてその普及に尽力するとともに、音楽を通じ東欧諸国との文化交流にも大きく貢献した。

## 〈参考〉

- 1、帯広少年少女合唱隊指導（昭和36年）
- 2、帯広アドニス少年少女合唱団指導（昭和45年）
- 3、東欧諸国（スイス、ルーマニア、チェコスロバキア、ブルガリア）の少年少女合唱団と交歓・共演（昭和47年）
- 4、ブルガリアの国際音楽祭参加（昭和50年）
- 5、ブルガリアの少年少女合唱曲訳詩。合唱曲集出版  
(昭和53年)